

コード	30173
名称	市場調査論 (2025-前期-火2)
1.開講年度	2025
2.開講期	前期 火2限
3.講義コード	30173
4.授業科目	市場調査論 (2025-前期-火2)
5.単位	2
6.担当教員	佐井 至道
7.配当学年：法学科	3年以上
8.配当学年：経済学科	3年以上
9.配当学年：経営学科	3年以上
10.配当学年：商学科	3年以上
11.備考	(事前申込科目) 定員 1 9 0 名程度

12.実務経験**13.実務経験：内容****14.実務経験：授業との関連****15.初年次教育****16.授業形態**

講義
演習

17.授業方法

受動型
アクティブラーニング：課題解決型

18.受講生のPC等使用

19.接続科目

地域社会
国際社会
産業界

20.授業の概要

経済学部経済学科に係る専門科目（選択必修科目）として、本講義では本学の教育理念に沿って、調査という手法を用いて社会事象を捉え、分析し、解決する能力を備えた人材の育成を目指す。

21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

- 1) 市場調査や社会調査の歴史と概要を理解する。
- 2) 調査の企画方法や実施方法という一連の流れを理解する。
- 3) 得られたデータの要約方法や簡単な推定方法についても理解する。

22.授業計画

この講義は対面で行う予定である。連絡事項の伝達と教材のやりとりについてはWebClassを通じて行う。

オンライン対応時には、YouTubeの視聴を基本とし、講義時間前にWebClassで視聴方法などを説明するとともに資料を配付し、課題はメールに添付して送信してもらう。

1.市場調査や社会調査の歴史・概論と統計との関係について [教科書 第1章]

- ・ 事前学修：講義で使用する手法や用語の予習
- ・ 事後学修：講義で学習した手法や用語の復習

2.データの要約方法について（量的データと質的データ） [教科書 第2章]

- ・ 事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・ 事後学修：返却されたレポートについての復習

3.調査の目的について [教科書 第1章, 第5章]

- ・ 事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・ 事後学修：返却されたレポートについての復習

4.調査方法について [教科書 第3章]

- ・ 事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・ 事後学修：返却されたレポートについての復習

5.調査の手順について（企画・実施・分析と報告） [教科書 第5章]

- ・ 事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・ 事後学修：返却されたレポートについての復習

6.調査票設計の注意点と回答形式の種類 [教科書 第4章]

- ・ 事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・ 事後学修：返却されたレポートについての復習

7.特殊な質問法について（語句連想法など） [教科書 第3章]

- ・ 事前学修：調査票の作成
- ・ 事後学修：調査の実施と検証

8.母集団と標本との関係（国勢調査など） [教科書 第6章]

- ・ 事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・ 事後学修：返却されたレポートについての復習

9.無作為抽出と有意抽出について（平均株価など） [教科書 第6章]

- ・事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

10.乱数表・疑似乱数とその応用について〔教科書 第6章〕

- ・事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

11.重複抽出と不重複抽出〔教科書 第6章〕

- ・事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

12.サンプリング実験〔教科書 第6章〕

- ・事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

13.調査データのチェックについて〔教科書 第5章〕

- ・事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

14.調査データの整理について〔教科書 第5章〕

- ・事前学修：講義で使用する手法・用語の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

15.調査データの分析方法について〔教科書 第8章〕

- ・事前学修：分析するデータの収集
- ・事後学修：予測結果と実際の値との差の評価

23.予習・復習

予習（1時間程度）使用するデータの選定，講義で使用する手法・用語の予習など

復習（3時間程度）レポートの作成，返却されたレポートについての復習など

24.注意事項

成績評価方法：試験とレポート両方

基本的には，レポートを20%，1回実施する小テストを20%，講義内の提出物（毎回の小テスト）を50%強として評価する。講義内の提出物については，毎回チェックして返却し，次回の講義で解説する。

25.教材

プリントを配布する。

26.教科書

ISBN	978-4-88730-420-8
書名	例解調査論
著者	佐井至道
出版社	大学教育出版
価格	2400円

27.参考書**28.授業関連科目**

特になし。

29.授業関連資格

社会調査士

データサイエンス・リテラシー教育プログラム

30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	45
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	5
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	3
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	2
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5

31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	1回の小テスト, 講義における毎回の小テストの内容を評価する。	75
レポート	1回作成するレポートの内容を評価する。	20
成果発表		
受講態度	受講状況を持続性・協調性などを含めて評価する	5
その他		